



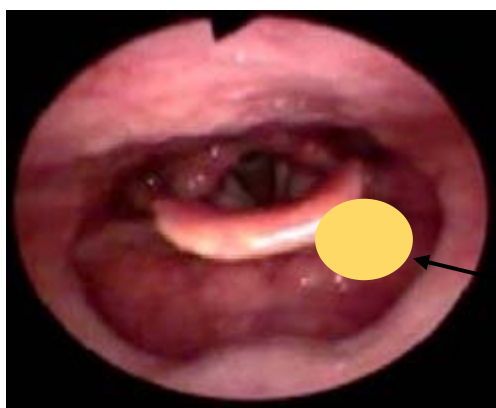
# 嚥下内視鏡検査 (VE)



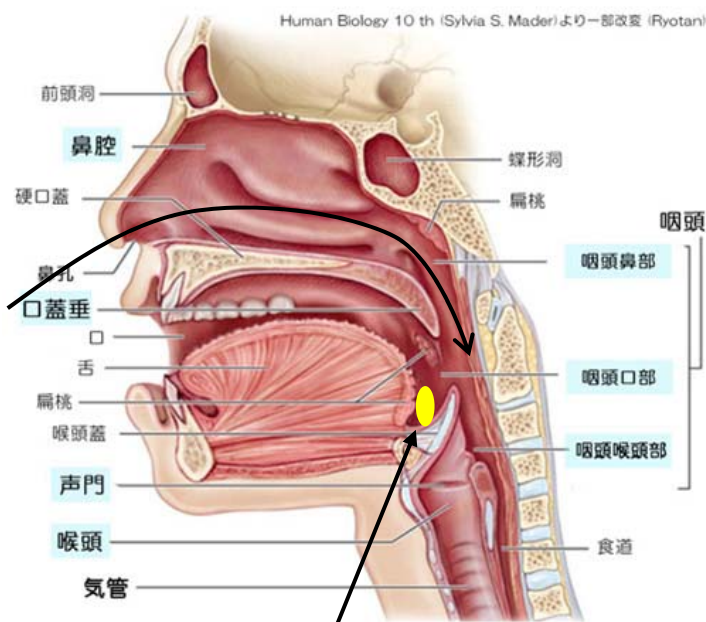
鼻から軟らかいチューブカメラを通して  
咀嚼（噛み砕き）や嚥下（飲み下し）を診る検査です。



使用する経鼻咽喉カメラ



実際の咽喉の様子



ご飯をうまく食べられずに  
残っている状態

摂食・嚥下機能（食べる・飲み込む機能）に障害のある方、または障害が疑われる方に対して、安全な栄養摂取方法の確立を目的として摂食・嚥下機能検査を行ないます。さらにその結果に基づき、安全な栄養摂取方法の設定および必要な訓練の指導をおこないます。

鼻咽腔ファイバースコープは直径約 3 mm程度で鼻の穴から挿入し、鼻の奥・のどの形や動き、衛生状態、粘膜の状態、唾液貯留の有無、誤嚥や残留の有無・程度を調べます。鼻の中を通るときに違和感や、わずかな痛みを感じます。検査にあたり、食事の制限などは必要ありません。

検査には、施設や自宅で通常食べている食品を使います。口の動きや喉の動きが正常かどうかを確認します。さらに、食品を食べる様子を観察して、良く噛むことができているか、食品が誤嚥されていないか、喉に食品が残っていないかなどを確認します。ご家族や関連の皆様と一緒に検査の画像を見ることもできますので、その場で、どんな形の食事が安全なのか、どんな食べていただき方が適切なのか、どんな栄養管理方法が適切なのかなどの相談ができます。検査機器は持ち運べるため訪問診療での対応が可能です。